

今年も五節句の一つであり「桃の節句」とも呼ばれる雛祭りがやってくる。長岡市立科学博物館では柳原町からさいわいプラザに移転後、毎年おひなさま展を開催し、市民の皆様にも長岡藩主牧野家ゆかりのお雛様をご覧頂いている。

毎年1月下旬から2月上旬にかけて、お雛様を展示するための作業を行っている。長岡のこの時期は大変寒く、雪が降りし時には猛吹雪の日もあるが、開催日に間に合うように準備を進めている。

今年のテーマは我が家のお雛様のうち最も新しい「扇印（おうぎじるし）」のお雛様を展示することにした。と言っても私の母の品で、母は大正7年生まれなので、約100年前のお雛様である。持ち主のお名前の代わりにそれぞれの御印が書かれた多くの箱の中から、「扇印」の箱を選び、これらを科学博物館1階の企画展示室に飾るのが私の仕事である。今年は初めての試みとして、3階の長岡藩主牧野家史料館の床の間の脇にある違い棚にも色紙と茶道具のミニチュアを飾ってみた。

以前「殿様の部屋」でおひなさま展を紹介したが、今回はその準備段階の様子を主に写真で紹介したいと思う。



No. 1 お雛様リストより展示する品を選定



No. 2 お雛様、お道具の収納箱



No. 3 展示を決定したお雛様など



No. 4 箱から出して破損しているものは修復をする



No. 5 お雛様の埃を払う



No. 6 こわれた箇所や汚れを確認

開催期間は令和7年（2025）2月14日（金）から3月9日（日）までであり、多くの方々にお越し頂ければ幸いです。ギャラリートークを3月1日（土）午前10時から30分程度行うので、ご興味のある方はこちらにもどうぞお越し下さい。お待ちしております。